

2020年春にJR常磐線佐貫駅の駅名が「龍ヶ崎市駅」に変わることにあわせて、佐貫駅や常磐線の歴史を振り返る連載コラムを掲載していきます。

知ってましたか？ 常磐線は当時最良のルートで建設
龍ヶ崎での反対運動はなかった…!?

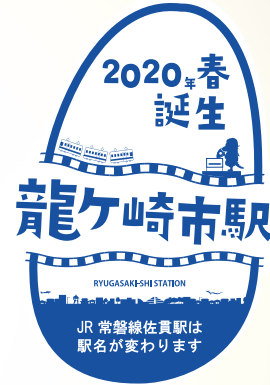


SLが走る佐貫駅

龍ヶ崎に伝わる「都市伝説」のひとつとしてよく聞かのが、「日本鉄道土浦線（今の常磐線）は反対運動によって佐貫付近を通るコースになった」というストーリーです。龍ヶ崎だけではなく、千葉県流山市にも同様の伝承があるいわゆる「鉄道忌避伝説」の多くは史実がなく、現在では虚構であったと判明しています。

明治期の鉄道建設は、未熟な土木技術の制約のため、トンネルや橋梁の数が少なくできるだけ短い距離となることが基本でした。常磐線は、福島県浜通りから茨城県日立市にかけて存在した常磐炭田の石炭を、京浜地区に速く・大量に輸送できるようなルートで建設されました。また、比較として検討されたルートにも龍ヶ崎はなく、計画がないところには反対運動が起こりえず、現在のルートが技術的・経済的に当時の最良なルートだったのです。

龍ヶ崎市駅誕生アイキャッチが完成！



龍ヶ崎市駅誕生に向け、卵から“龍ヶ崎市駅が生まれる”をイメージしたデザインのアイキャッチを、市職員が制作しました。

割れる殻の亀裂は線路で表現し、下部に龍ヶ崎の街並みのシルエットを入れ、鉄道×龍ヶ崎を想起されるようなマークとしています。

今後はのぼり旗など、さまざまなシーンで活用していきます。

『りゅうほー』がリニューアルしました！

New!



■問い合わせ：シティセールス課広報広聴グループ ☎内線 371

■より親しみやすい広報紙へ

広報紙『りゅうほー』を改元にあわせてリニューアルしました。

約6年間同じだったデザインを見直し、表紙を地域情報誌のようなシンプルなものに。本文は、分かりやすい・伝わりやすい紙面となるようにしました。

今後は特集記事なども掲載し、より楽しく・親しみやすい広報紙を目指していきます。

■カラーページで鮮やかに

紙面の一部にカラーページを導入しました。1歳の赤ちゃんを紹介する「わがやの天使大集合」などの各投稿コーナー、特集記事やまちのできごとなどを、カラーで紹介する予定です。

また、今まで前半号・後半号と分散して掲載していた「子育てイベント情報」を後半号に集約して掲載します。全ての子育て支援センターの情報が一括で見られるようになりますので、ぜひご活用ください！

これからも読みやすい広報紙を目指して制作していきます。今後とも、『りゅうほー』をどうぞよろしくお願い致します！